

## お手植え・お手播き樹種（案）について

## 1 森林資源循環利用専門委員会による検討経緯

## (1) 構成

<p>◎嶋 一徹（岡山大学 教授）</p> <p>○千葉 喬三（中国学園大学・短期大学 学長）</p> <p>杉本 孝一（県緑化推進協会 事務局長）</p> <p>池田 稔（県森林組合連合会 代表理事専務）</p> <p>矢田貝 茂（県木材組合連合会 専務理事）</p> <p>山下 秀喜（県種苗協同組合 事務局長）</p> <p>大倉 隆之（県農林水産部 林政課長）</p> <p>石原 匡師（県農林水産部 治山課長）</p> <p style="text-align: right;">（◎委員長 ○副委員長）</p>	<p><b>【付託事項】</b></p> <p>樹種の選定、植樹・木材利用等に関すること</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------

## (2) 開催

- 第1回 令和3年1月18日（月）
- 第2回 令和3年3月22日（月）
- 第3回 令和3年6月30日（水）

## 2 選定方法

## (1) 選定の考え方

- ① 本県の気候風土や地域の特性に適した樹種
  - ・ 県内自生種又は有用な樹種
  - ・ 原則として、県内で採取した種子等により育成が可能な樹種
- ② ①のうち県民に親しみのある樹種
  - ・ 県や市町村の木など県民に広く親しまれている樹種
  - ・ 本県の歴史や文化に関わりの深い樹種
  - ・ 将来にわたり林業を支える樹種

## (2) 選定の種類

- ① お手植え樹種
  - ・ 天皇陛下3種、皇后陛下3種
- ② お手播き樹種
  - ・ 天皇陛下2種、皇后陛下2種

※お手植え樹種とお手播き樹種の一部重複も可能とする。

### 3 お手植え・お手播き樹種（案）（詳細は別紙のとおり）

#### （1）お手植え樹種（案）（第74回全国植樹祭のシンボルとして管理育成）

##### <天皇陛下>

- ・ 県を代表する有用な樹木3種を選定



アカマツ（抵抗性：桃太郎松）



ヒノキ（少花粉）



スギ（少花粉）

##### <皇后陛下>

- ・ 県にゆかりのある花や実の美しい樹木3種を選定



クロガネモチ



アテツマンサク



キクザクラ

#### （2）お手播き樹種（案）（第74回全国植樹祭の記念樹として県内に広く普及）

##### <天皇陛下>

- ・ 将来にわたり林業を支える樹木2種を選定



ヒノキ（少花粉）



スギ（少花粉）

##### <皇后陛下>

- ・ 四季折々の景観を形成する花や紅葉の美しい樹木2種を選定



ヤマザクラ



イロハモミジ

## お手植え樹種

## ■ 天皇陛下

樹種		特徴・選定理由など
アカマツ (抵抗性: 桃太郎松)		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県の木として広く県民に親しまれています。</li> <li>● 建築材としての利用のほか、備前焼の燃料として利用されています。</li> <li>● 第18回大会（昭和42年）で天皇皇后両陛下がお手植えされた樹種です。</li> </ul>
ヒノキ (少花粉)		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県の林業を支える主要樹種で、県内には気候風土に適したヒノキが多く植えられています。</li> <li>● 建築材などに利用され、生産量は全国トップクラスです。</li> <li>● 第18回大会で皇后陛下がお手播きされた樹種です。</li> </ul>
スギ (少花粉)		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県の林業を支える主要樹種で、ヒノキの次に多く植えられています。</li> <li>● 建築材やCLTの材料として利用されています。</li> </ul>



## お手植え樹種

## ■ 皇后陛下

樹種		特徴・選定理由など
クログネモチ	 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地方名の「あくら」は岡山市内の道路の名称としても親しまれています。</li> <li>● 5月から6月頃に淡紫色の小花を咲かせた後、赤い実を付けます。</li> </ul>
アテツマンサク	 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 阿哲郡（現・新見市）で発見され、命名された地域固有種です。</li> <li>● 2月から3月頃に淡黄色で短冊のような花を咲かせます。</li> </ul>
キクザクラ	 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 昭和28年に昭和天皇が、行幸啓の際、後樂園に植樹されました。</li> <li>● 池田厚子さん（順宮厚子内親王）のお印です。</li> <li>● 4月下旬に淡紅色の多数の花弁を付ける「菊咲き」をします。</li> </ul>

## お手播き樹種

## ■ 天皇陛下

樹種		特徴・選定理由など
ヒノキ (少花粉)		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 将来にわたり林業を支える樹種として県が普及に取り組んでいます。</li> </ul> <p>※木材の利用期を迎えているスギ・ヒノキ人工林の伐採に併せて、跡地に少花粉苗木による植替えを促進するなど花粉発生源対策に取り組んでいます。</p>
スギ (少花粉)		

## ■ 皇后陛下

樹種		特徴・選定理由など
ヤマザクラ		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県内に広く自生する野生種で、県の天然記念物など、地域のシンボルとなっています。</li> <li>● 淡紅色の花を咲かせ、新緑の山野に春の風情を添えています。</li> </ul>
イロハモミジ		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県内に広く自生する樹種で、国の名勝の豪渓など、多くの名所があります。</li> <li>● 紅葉する様子は鮮やかで、秋の自然景観に彩りを添えています。</li> </ul>